

今月生まれのお友達をご紹介します  
**Happy Birthday**



伊達 彩生ちゃん  
 (木津和)  
 ☆親の願い いつも陽気な彩生ちゃん。元気にスクスク大きくなってね。



古城 快晟ちゃん  
 (田頭)  
 ☆親の願い 優しくてひょうきんで素直な快晟…。いつまでもまあいココロ持ちつづけてね!!



市川 華風ちゃん  
 (井関・大矢)  
 ☆親の願い パパもママも、華風ちゃんのお顔が大好きです。笑顔を絶やさず、元気で優しい子になってね。



岸元 昊大ちゃん  
 (小島)  
 ☆親の願い お兄ちゃん、妹と仲良くして、優しい子になってください。

長年務められていた農協を10年前に退職されてから、普通のトマトとミニトマトの中間サイズのミディトマトを水耕栽培し、販売されている小里さん。自宅近くに建てられた6棟のハウスで、2月と5月の年2回、時期をずらして植えられています。

「ピークは7月。収穫、荷作り、芽かぎに大忙し」、多い時は、月に4tも出荷されるそうです。出荷先は、道の駅さんわ182ステーションや百彩館のほか、フジグランやまるごと市場、広島市などの地産地消のコーナーなど多くの店先に並びます。

出荷の途切れる3月から4月には、常連のお客さんから「小里さんのトマトを食べると他のものは食べられない」と自宅へ問い合わせの電話があるほどの人気です。

いちごやパプリカ、ホウレンソウの栽培もされるほか、昨年の6月からは、2年間試行錯誤の末作られた町内のお米を使った米粉パンも販売されています。

米粉が8割も含まれるため、「冷えたままだと少し粉っぽく感じるかもしれないが、レンジで30秒ほど温めるとふっくら、もちもちが戻りよりおいしくなる」と、あんぱんやピザパンなどに加え、今年も自家製ゆずジャムのはいったパンも販売されています。

さらに、「次は自家製のはちみつと三和の牛乳を使った生キャラメルを販売したい」と、新商品の試作もされています。

「身の回りにあるもので、田舎ならではのものづくりをしていきたい」と今後も、その思いから生まれる、地元のお味に楽しみが広がります。

神石高原町の  
**一番星 No.23**  
**み～つけた**



西油木自治振興会の  
**小里 日出美さん**